

第2回 横浜市野毛山荘指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	平成 27 年 8 月 17 日 (月) 14 時 00 分～15 時 50 分
開 催 場 所	西区役所 地下 A 会議室
出 席 者	<p>【選定委員】</p> <p>石井 忍 (委員長)、有村 知里、梅山 胖、林 和明、村井 恵子</p> <p>【事務局】</p> <p>早川地域振興課長、立川担当係長、相澤担当職員、後澤担当職員</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部公開 (傍聴者 0 人) ※プレゼンテーション終了後の質疑以降は非公開
議 題	<p>1 2 次 審 査 (面 接 審 査) に つ い て</p> <p>2 指 定 候 補 者 の 選 定 に つ い て</p>
決 定 事 項	<p>次の団体を指定候補者として選定した。</p> <p>【指定候補者】社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p> <p>この結果を西区長に報告する。</p>
議 事 委 員 意 見	<p>1 2 次 審 査 (面 接 審 査) に つ い て</p> <p>(事務局) 第 1 回選定委員会の際の決定事項に基づき、プレゼンテーション後の質疑、指定候補者の選定については非公開とすることを確認。</p> <p>2 次 審 査 の 進 め 方 に つ い て 説 明 。</p> <p>(委員長) 最低基準については各委員の採点結果の平均が満点の 6 割以上であることを再確認。</p> <p>(委 員) 異議なし。</p> <p>【応募団体：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会】</p> <p>(団体) プレゼンテーション。</p> <p>[質疑]</p> <p>(委員) 西区民からの利用を増やすための取組は何か。</p> <p>(団体) 他の施設との連携を図り、出前講座等に取り組みたいと考えている。</p> <p>(委員) 利用状況に男女で開きがあることについて、どのように考えるか。</p> <p>(団体) 今後は男性のみならず、新規利用者をどのように増やすかが大きな課題と捉えている。女性向けの新しい教室などで男女の利用のバランスを図る。</p> <p>(委員) 交通の利便性という点から見ても、通いづらいところもある。高齢者が通いやすいように考えて欲しい。</p> <p>(団体) 交通の利便性の課題については分析させていただく。</p> <p>(委員) 光熱水費が高い理由と、前年度の光熱水費について教えてほしい。</p> <p>(団体) 光熱水費については現在、合築施設の急な坂スタジオと合算し、面積比率で割って負担をしている。熱効率が下がっており、ここ数年では同等の金額で推移してきている。太陽光設備を取り付けたことで、来年度以降の光</p>

熱水費は多少低減することが見込まれる。

(委員) 実施事業が多いが、事業はどのように企画実施されるのか。

(団体) 利用者会議などで出た要望・意見をもとにしている。

(委員) 環境への配慮について、省力化ではなく省エネなのではないか。

(団体) 省エネということでご理解いただきたい。

(委員) スポーツ関連の取組は何かあるか。

(団体) オリンピックに参加された方を講師にお招きした体操事業や、アロマヨガなどを実施している。

(委員) 利用者会議について教えて欲しい。

(団体) 年1回冬季に開催。会議で出た意見を次の事業に反映させることが目的。登録団体(約80団体)から約50名程度参加。予約方法についての要望・意見が上がっている。

(委員) 施設を利用されていない方からの要望はどのように反映させるのか。

(団体) 第4地区の会議などの場を活用していきたい。

(委員) 提携した医療機関があった方が良いと思うが、どのように考えているか。救急車要請の実績はどうか。

(団体) 専門的なかかりつけの医療機関は現時点ではない。救急車要請は野毛山荘にはそれ程なく、デイサービスでは月に2~3件要請がある。

2 指定候補者の選定について

評価点 74点/100点

(委員長) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を指定候補者として選定する。

(委員) 異議なし。

[講評]

- ・これまでの安定した施設の運営管理の経験がある。
- ・安定した財政基盤がある。
- ・団体の理念や基本方針が優れている。
- ・理念や基本方針に基づき真摯に取り組む姿勢を期待できる。
- ・利用状況を分析し、現在利用されていない方のニーズを引き上げることが必要である。
- ・新規利用者を確保することが課題である。
- ・医療機関との連携について考えを明確にしてもらいたい。